



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

11 / 19

大人も子供も一しゅんで殺したり、傷を負わせたりしてしまふ原子爆弾は、とてもこわいと思いました。また、そのようなおそろしいものを人間がつくり、同じ人間を傷つけたのはとても悲しいと思いました。

話してくださった、被爆者の人、死んでしまった人の心たいたしい状態を実際に見た、池田義三さんが原爆資料館の模型を見たときに、「きれいすぎる」とつぶやいたとおしゃっていたのが私は一番印象的でした。

写真で見たものよりもさらに、ひどいありさまだったのはとても原子爆弾の力がおそろしいとものかたっていると思いました。

私は、ずっと関東にいたので、広島や長崎に行ったこともなければ、話を聞いたこともありませんでした。でも、今回原爆の話をはじめてきて、原爆のおそろしい戦争のこわさを知ることができた。とても特別な話を今度は私たちが伝えていかなければいけないと強く感じました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

11 / 19

原爆は「こわいおそろしい」というイメージは元からありましたが、原爆先生の話をきいてみると、原爆が想像の何倍も何倍もおそろしいことにおどろきました。……と、ぼくはそう感じていますが、きっと、本当に受けていた原爆はきっと、とおそろしい物だ、たのでしょう。話を聞いただけでは、10割は伝わらないと思うので。でも、だからといって行動に出ないと元も子もないと思います。だからこそ、原爆先生の話を聞いた「ぼくら」のうちのたれかが、原爆先生として次の代にこのことを8割9割、なんとか、次の代に伝えていけることができればいいな、と思いました。(…ここからは、それ以外に、思った事を書きます。まず、原爆は上空600m(ほど)で爆発したらしいですが、どうやって空中で爆発させたんでしょうか。少しそれが気になります。あと、日本が原爆を落とす測にいたとしたら、「ブカザイがある」という理由で、たして場所を除外したりしますでしょうか?)



原爆先生の特別授業を受講して

表

11 / 19

いやだった。ただただいやだった
聞きたくなかった。

ぼくは長崎県、広島県と引越していて
何度か原子爆弾の被害者の
言話を聞いていてB-29が原子爆弾を
落としたことや爆発したときに表面温度が
7000℃をこえたこと、チバット大佐が
乗っていた飛行機の名前が「チバット大佐
の母親の名前のエノラ・ゲイ」であることは
知っていた。いざ聞くとなるといままで
とはちがう視点の話だったから興味をも
って聞くことができた。陸軍の兵隊だった
池田義三さんはけが人を助けるという立場
だったから知らないこともあった。
防炎用水の中に入っていたということなどは
始めて聞いてとてもかわいそうで悲しくなった。
最後に義三さんが必死でうったえをかけている
シーンを見て原爆は人形などでは表せない
ぜったいにいけないことだと思った。



原爆先生の特別授業を受講して

表

11 / 19

原爆先生の話を聞いて、今まで原爆のことについて聞いたり習ったりしたことがなかったので、想像以上の被害にあつておそろしかったです。

原爆の時は、広島市の人口の40%の人が死亡して、原爆はかなり遠くまで被害があつたのに池田義三さんたちは必死で人を助けようとしたり、死体を運んで、早く広島市をもとにもどそうとしていたところがすごかったです。原爆のトルボイが時速300kmでとんできて、中心が100℃で表面が700℃もある球体が空から落ちてきていたので広島市の人たちは、こわかったけれど、にげられなかったのだと思いました。原爆は、いっしょに人の体の中の水分を奪取してしまうと、ヤトの黒いかけのあとだけが残っていたことは、原爆のいかに感じ、こわかったです。原爆により、ほとんとかが燃えてしまった原爆トームは、原爆のあとを知らせる大事な物だと思つたので、これからもずっと

残していけるといいと思いました。
これからも原爆のことについてお話しを聞いたり、
実際に体験したりできる機会があること、
もって原爆のことについて知れて色々感じることも
できるのでいいと思いました。



ぼくは原爆のことを聞いて改めて戦争はしてはいけないということを実感しました。第二次世界大戦によって、さまざまな被害が出ましたが特に広島と長崎に投下された原爆によって、多くの死者が出ました。特に原爆は後遺症にはなやまげれる人が多く、戦後70年たった今でもつらい思いしている人がいます。

ぼくは去年、長崎の原爆資料館に行きました。そのときに見た写真や展示物を今でもまだ心の中に残っていて今日の話を聞いてそのことを思い出しました。

ぼくたちは戦争を経験していませんが大人になって戦争を経験した人がいなくなって、戦争の語りついていく人になってみたくてです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

11 / 19

私は、今回原爆先生から原爆の話聞いて、原爆とは、
人々を傷つけたり、建物を破かしたりするおそろしいものだ
ということが分かりました。ふたん、他事だと思っていたが、原爆
を実際に体験した人の事を考えると「良かった」ということが
よく分かりました。原爆が落ちるまでは、みんな普通に暮らして
いたが、原爆が落ちたことで、死者や、負傷者がでてしまうので
考えるだけで「かわいそうだな」という気持ちでできます。

原爆は、7000℃もあり太陽よりも熱いとおどろきました。
原爆での被爆者数は、24万人、死者数は14万人でした。広島市の
人口は、35万人と聞き、原爆で、どれだけの人が被害にあつたか
がよく分かりました。

原爆で被害にあつた人が、どのようになつて、
このように原爆先生をしているのかなと私は思いました。
「1945年、広島に原爆が落ちた、このことを思った」だけでも、
っらいだろうと思うのに、子供たちのために、こうやって
原爆先生になり、当時のことを教えてもらい、本当にありがたく
思います。今回教えてもらったことを忘れてないよう
にしよう、心から思いました。



ぼくは池田公の話を書いて初めておも

たことは原爆などは悲しいことほど

です。このほどでいままなとがあるとわかり

また原子爆弾をおとされたときパテント
で知らせておとしたといっていました。

この話を聞いて頭が痛い。な〜あとおもいました

とウセンから来たからあごのしょうけき

は毎秒400mといっていました。そのしょうけきで

家もこわけてしま、たのでかわいそうた

なあ〜っておもいました。

池田公のおとうさんはずいとおも

をしかか、らたたか、つりさんなあ、つ

おもいました。

原爆のことをしりてよかったです

またこの話をききたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

11 / 19

前まで簡単に「原爆」といっていただけ
れど、授業を受けてから、原爆を受けた
人のつらさが分かったから、そんな簡
単に言ってはいけないうちと思ひました。
話をきいて、どれほど怖いか、つらい
かが分かった。

やっぱり、戦争や、争いは、多くの
人々を傷つけ、悲しませるから、
絶対にやってはいけないうちだと思ひ
ました。



原爆先生の特別授業を^{じゅこう}受講して

表

11 / 19

原爆とは私が想像していたことよりも
とても恐ろしいものでした。

当時の広島市の人口は35万人、被爆者の
数は24万人、そしてこの原爆で亡くなった
人の数は14万人もいます。亡くなった人
のうち、約2万人が「いっしょん」で消え
てしまったそうです。この原爆での被爆率は
およそ70%、死亡率は40%です。5人に
2人亡くなっています。

原爆投下都市の条件は①直径5kmを超え
②平野であること③空襲がなかったこと
の3つです。そして候補になった都市が
広島、川倉、長崎、他に横浜、新潟、京都
でした。

原爆の温度は中心が700万℃、表面が7000℃、
地上が3000℃というとても熱いです。

人間は内臓もとけて炭のかたまりです。

話を聞くだけでもこわいのにも実際に体験
した人はとんでもないこわかったか……。

今生きているだけでも幸せだと私は思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

11 / 19

原爆が爆発した時の光と熱で、4
人で人が炭になり、しまり、想像
もしてなかった。アメリカが候補の京都
に歴史的建造物などがあるから、原爆を
うつのをやめたと思った時、戦争をして
いる間にこのようなことが考えられてい
てすごいと思っただ。なぜ原爆を
落とすための飛行機にパイロット
の母親の名前をつけたか、原爆本体
に「リトルボイ」と名づけたのか、疑
問だ。この原爆先生の特別授
業を受講して、原爆そのものが
ことばにあらわすことができ
ない、ほいおそろしいものなとい
うことを知るきっかけだった。



原爆先生の特別授業を受講して

表

11 / 19

改めて原爆の恐ろしさを理解しました。原爆を投下する場所を決めるときに、もし東京に投下するという案が出ていたらと考えると恐怖です。池田義三さんは傷を負っている人に助けを求められ助けたいと思いましたが、助けられなかった人も多くおり自分は何もすることができなかつたことふり返っている姿から無念だったのかと思いました。原爆に合い死亡してしまった人々は、子供から大人まで多くの方がいます。死亡してしまった人々は、したかったことなどが残っているままその夢は叶うことなかつたんだと思いました。今私が出来ると思ったことは原爆のおそろしさを後の世代に伝えていくことだと思っています。原爆のおそろしさを理解していることで二度と原爆を使ってはいけないと分かるからです。

今日は教えて頂き、ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

11 / 19

げんばくドムのもと姿を見ると、いかに原爆のおそいの
かがわかりました。

原爆先生の(よしろう=)歩いた道には、原心地に近づくにつれて、ひびきが大きくなっているのを感じました。よしろうは、1度空しゅうにあたらしく後の原爆ドームを見ていると言いました。今、原爆ドームが世界遺産に、とうろくされては、さすがに原爆ドームは、原爆ドームという名前ではなし、きちんとした名前があることがわかり、でもその姿が見れないほど、さびしくなれもあり、死者も14万人もいたこのげんばくをもっと応えたいと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

11 / 19

今回話を聞いて、原爆のがこくさを
しました。

話してくれ人のお父さんもつらいわけ

けんもしたと感しました。

話を読みながら泣をこぼしていな

場面も多々ありました。

とっしあつたのはさんねんでしたか

戦後梨川かんに行ったときさかれすぎると

人形にむけていた言葉言った

理由が分からなくなりました。

被災爆したしょうたいはまかれすぎ

るという意味だと思いはず。

二度とこうゆうことがないよう

ねがっています。



私は、原爆先生がいた広島県で、
たくさんの人たちが苦しみながら、亡く
なってしまったことを知り、心を痛めました。
軍人だけでなく、軍人ではない
一般の人々までも、原爆の熱風や
放射線などでやけどを負い、皮膚が
とれてしまうなど悲惨なことが、今「平
和な国」とよばれている日本で起きて
いたことに大変おどろきました。
映像で見たようになににも知らず
に、いつものように暮らしている時に
原爆が落ちてくる戦争に恐怖を感
じました。人々が目の前で亡くなって
いく様子は想像することができません。
これからの日本では、このような戦争が
起きてほしくないと願います。そして、
日本は「平和な国」であるべきだと
強く思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

11 / 19

社会の歴史の授業を受ける
ときに、話しながらかつたり、

うるさくしたりした。た
た"な"と思った。

.. まこんな平和な生活た"けど"、

昔の人達のつらさを考えると、

なんか、けんかしている人達か"おじ"め
にみえてきました。

原は"くと".. うは"くだん"はおそろしいもの
た"を"思った。

人が"はい"になってしまふほど"のば"と"だん"か"
あるというこ"と"に、か"ど"ろ"いた。



原爆先生の特別授業を受講して

表

11 / 19

先日は貴重な話をして下さい

ありがとうございます。

私は前に原爆ドームや平和記念館へ
行きました。そこで見た物は

どれもみな残こくで、いたいたし

かたけれど、それが「きれいすぎる」という

ことに、とても衝撃を覚えました。

ほんの一瞬で人間がなくなり

健て物はこわされ、生きのびても原爆症

になやまされるほどデタリットか

たくさんある原爆だけれど、それぞれ戦争を

しななければこんなことにはならないと

思います。

戦争を他人事にせず、自分達

のこととして受け入れて、これから

の人生を過ごしたいです。

そして今回言台して下さい

ことを一生忘れずにしたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

11 / 19

今日の講座では、講師の話とVTR
で原爆の破壊力、そして恐しさというも
のを学んだ。この原爆が二度も戦争に
使用されたという事は、とても悲しいこ
となのである。戦争に原爆が使用さ
れたのは今のところ本島と長崎の二か所
だけだが、二度とこのようなことがあ
ってはならない。そのことは本島に
ある原爆ドームが物語っている。

一瞬間のうちに全てを壊しつ
く原爆、我々はこれを世界から
なくするようにはしていかなければ
ならない。



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

11 / 19

原爆先生の特別授業で原子爆弾の事について教えられました。

7000℃の少年を聞いて、きこう条件により、ばくだんをおとす場所がちがう事が分かりました。

第一に広島 第二に小倉 第三に長崎と、こうほで決めていました。

広島に投下された原爆は「リトルボーイ」という名前があります。その意味は「小さな少年」という意味だそうです。

原爆は、4kmはなれた所から回転しながらおろし、時速300kmで飛んでいました。でもとちゅうからは羽によ、て回転を止め落下していきま、す。また、エノラ・ゲイはお母さんの名前だそうです。

それをすく、た、17才で軍隊に入、た、人は、すこいと思、います。理由は、人がやきこげたのをみても、安全な所にはこび、人の命を大切にして、いるな、あ、と思、いました。みなさん、人の命を大切にしてほ、しいと思、いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

11 / 19

原爆でどれだけの被害だったのか、その中にどれだけの痛みや悲しみがあったのかを知りました。

その中で兵隊がなるべく多くの人を救おうとしたという事が分かり自分もパニック状態でも国民を救うため任務に立ち向かい、ギリギリで行動したのがすごいと思いました。

原爆によってやけどを負った人はうでをふるると痛むのでゾコビのような歩き方をしていました。その話を聞いてとても怖かったです。なのでその場にいる兵隊や被害者の人はどんなに怖かったのだらうと思うと胸がしめつけられました。

最後のビデオの時兵隊さんが立っていたので思い出したくないくらい怖くて助けられなかった悔しさがあったのかと思いました。

今回の話を聞いて原爆のおそろしさを知りました。なので原爆がこの世からなくなるとその時の怖さをだれももう二度とあじあわせないような平和な世界になる事を願います。



原爆先生の特別授業を受講して

表

11 / 19

僕は原爆先生の特別授業を通して
戦争の恐ろしさがわかりました。

前までは戦争の恐ろしさがよくわから
なかったのですが、原爆先生のわかり
やすいお話と映像を見ることで戦争
の真の恐ろしさがわかりました。

現実ではありえないような悲慘なこ
とが起こるのが戦争なんだと思
いました。原子力爆弾の中心部の温度
は太陽の表面温度の数倍もあり、川の
水が蒸発したことやムネに土おったら
やまたがねというムネがブルととあるとい
うことに驚き、本当にそんな状況だ
んだと思いました。

今、学校の歴史の授業でちょうど第二
次世界大戦に土しかが、という所から
おしく調べたいと思います。

戦争も乗り越えたい人達を尊敬します。



原爆先生の特別授業を受講して

表

11 / 19

・わたしは、この特別授業をうけて思ったことはたくさんあります。原爆はただの爆弾と思いきんできたけど、今日の授業で、ふつうの爆弾ではなく、どうしたらその原爆を作れるのかと思うぐらいおそろしいことがわかりました。そう思うと、ひかひかなくなってしまう人たちがすごくかわいそうで、しかたなくなりました。何もわるいことをしていいのに、死んでしまうことがとにかくなしいです。さしほに見たビデオが今でも残っています。そうぞうするだけでもなみたが、おそろしいでした。この授業をうけてわかったことは、原爆は、すごくおそろしくて、人がしはいいはいけない物と、今生きているだけで、もしあわせで、わか"ま"ま"や"せ"いたくは言てはいけないことを、学びました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこ

表

11 / 19

私は、原爆が広島・長崎に落ちたことは、知っていたけど、何万人がこの原爆で亡ってしまったなど、
どういふのが広島に落ちたのかなど、疑問がたくさんありました。その他も、いろいろ学びました。

まず原爆の正体は、リトルボーイと呼ばれる3.12mの重さ約4tの原爆が広島に時速300kmで落ちてきたのです。しかも原爆の温度が、100万℃で、外側の温度は、7000℃です。

そんなに熱いのが、落ちてきて、人の皮膚がとけて、何人も人が亡くなりました。

次は、何人の人が亡くなったのかです。

もともと広島の人口数は約35万人。被爆者数は24万人。死者数14万人。死亡率が40%。

5人に2人が死亡しています。

今私は、社会の時間に、戦争のことを勉強している。日中戦争とか、第2次世界大戦で、多くの命が亡くなるのを知ったけど、あらためて、原爆先生の話を聞くと、なんと、命が、たくさんなくなるのに、日本人は、戦いを続けるのかと、とても不思議です。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅうごう

表

11 / 19

どれだけ、日本がよろかな、戦争をしていたのが、よくわかりました。原爆のいなか、まさ、この危けんが"どれだけの人をつらしたのがそれがよくわかりました。

へいしの人か原爆で苦しんでいたのを見ていたんです。手をもつてに右いにつけよつとしたら、手がもちたりえんた、こわいことが、自分の目のまえでまきたら、としてもこわいと思いました。元やす川には、ほとんど"水が"無し、まるで死の海のようたよ、感じだ"と聞いて、思いました。なぜなら、海には、たしさんの死体か"ころが"ていたか"らです。あまりのあつさに、洋服をぬぎ、水に入つたのが"ーしゅんで"じょうはつしてしまつたのです。

こけよつあいに、戦が"もうニじ"とまごらな。そして、北朝月せんなどの三サイも、えんなこわい"思ひは、ほくは、けいけんした"か"い"はせん。



原爆先生の特別授業を^{じゅこう}受講して

表

11 / 19

原爆先生の話を聞いて、僕はまず戦争はおそろしいものだなと思いました。僕が小さいころに広島県に行くと、平和記念公園に行くと共に人形を見て泣いてしまいましたか、今日の話を聞いて、「人生易しいものではない」という諺を聞いたときどれほどむかついたのだろうという考えが頭の中をくりみしました。僕はなにか原爆の話を聞いたことがありますが、このように実際に戦争を休馬剣役目^{と直接関係のある人}になってから話を聞くのはこれが初めてでした。郷祭にそのときの映像を見て、なんでここまで大きなことになってしまったのだろう、日本はどんな道を間違えたのだろうかと思ってしまう。とても恐ろしいのであれば日本開国して西洋化してきたころではないかと思えます。それでも、何かアチカはなかつたのだろう。今日の貴重な体験は心の中に入れておこうと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

11 / 19

ぼくは、原爆に711の話を聞いた。原爆が8月6日、8月9日に、広島県、長崎県に、おとされて、体中がやけどし、4,3,がとれることや、肉、じぼうまでとれると聞いた。ぼくは、17もた、た、えいしやぐろいなどといっていたが、この話を聞いたときには、言葉がなにも出てなく、ざんこくだと思った。そして、原爆は、太陽を上回る、7000℃～1万℃までとれているのは、当然やけどをする。そして、死んでしまう人も130。そして、原爆がおとれるのは、太陽がおちてきたとおなじことだ"と思った。そして、47もあつたから、死んでしまう人は、何百万人も130だろ。そして、原爆をおとしているアメリカは、死者が750と命から117,おとしたのだから、人殺しと同じである。ぼくは、この授業を受けて、改めて戦争は小布り"と思った。



原爆先生の特別授業を受講して

表

11 / 19

ほくは、特別授業を受講して、原爆はすごく恐ろしい物だと思いました。原爆が落とされた後の場所は何もかも焼けていて、人間の姿とは思えない姿になった人達があふれ返っていたという事を聞いて、原爆を一つ落とすだけで、何万人もの人達が命を失うという原爆の威力の強さを知りました。もしかしたらこの原爆の悲惨さを知らない人も世にはたくさんいると思うので、ここは唯一の被爆国であり、原爆の悲惨さを知っている人が多い日本が世界に核の撤廃を訴え、これ以上原爆が落とされるのを防ぐべきだと思いましたが、今、北朝鮮の非核化が話題となつていますが、このように少しづつでも核兵器を減らし、核のない世の中を作りたいと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

11 / 19

ぼくは、今回原爆先生の授業を受講して、改めて原爆の怖さ、恐しさというものを知りました。原爆が広島に落とされて、その時の被爆者の様子を教えてもらい、それを想像するだけで、とても恐いなと思いました。そして、被爆した広島市の人口が35万人、被爆者数が24万人、死者数が14万人、死亡率が40%と、5人に2人が亡くなってしまうということから、原爆の威力は想像を絶するほどすさまじいものだったのだなと思いました。ぼくは、この授業を受講して、今までよりずっと原爆の恐しさを知り、これからが平和な世の中であってほしいなと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

11 / 19

私は、原爆先生の授業を受講して、とてもいい経験になりました。

当時、突然おそいかった原爆によって、たくさんの方が亡くなってとても悲しいです。

しかも1発だけではなく、2発もくるなんて思っていませんでした。

衝撃波の速さが速いことによって、広島県の被害が大きくなり、もっとケガ人や死者が増えるとうことを学びました。

今回、あの特別授業を受けて、原子爆弾の本当の恐怖を知ることができました。

池田先生は、実際に被害にあっていて、その当時の貴重な話をしていただいて、ありがとうございました。

あの貴重な話を胸に刻み、前に進んで行きたいと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

11 / 19

歴史という大切さを学んだ。
昔の歴史が 敵から今という
時間か あると思っ た。
単戈争というフーイ
気持ちが 変わった。ト
ラマ とか ぶがって いるか
話をきくと トラマ の 100倍
が 100 倍の かわさとい
うこと が かった。これ
からも 単戈争が ありかた
しれな い ので コック
リー ン で 方く たい
しよ が 必要だ と思し
ました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

11/19

林 駿 太

ぼくは、夏休みの読書感想文で「原爆のこと」を書きました。

そのときぼくは、原爆が「おそろしい」とがよく分かりました。

そこで今日、原爆を体験した人の声を聞きました。その池田さんが書いた本の一部分だけを読んでくれました。

爆心地に原爆が落とされて、近くに住んでいた人々は、火を死んでしまい、ひんが「だらだらにはがれて」と聞いて、おそろしくおそろしいとよく分かりました。

ぼくは、原爆が落とされる動画と、池田さんの動画を見て、原爆が落とされた後もすごく苦しかったのだなと思いました。

「ラジオソング」「エノケイ」と言う言葉なども話してくれました。

ぼくは、この特別授業を聞いて、夏休みの読書感想文のときより、もっと原爆が落ちたころのことが知れてよかったです。



原爆の投下都市の条件で、本当は京都が第一候補で、それをやめた理由が2つあったことを知りました。原爆は、3つのえいきょうがあることも初めて知りました。一つ目のえいきょうの熱線^{熱線}で、それが太陽の表面温度の6000℃よりも高い高温で、それでやけど死んでしまうことがあることも知りました。熱線のえいきょうで内臓まで灰になってしまうことがあり、原爆はとてもしんどい力か大きいのだなという事も改めて思いました。

2つ目のえいきょうのしょうげき波では、人を10m以上に飛ばしたり、建物を粉々にしてしまう強い力があるということにおどろきました。

3つ目のえいきょうは、放射線だそうです。それにより、原爆病になり、今でも苦しんでいる人もいることが分かりました。原爆は様々なえいきょうをもたらし、その原爆が開発され、投下された原因は戦争なので、やはり戦争はいけないことだと思いました。その戦争のせいで多くの方が亡くなりました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

11 / 19

ぼくは原爆先生の授業を受けて
原爆①のむさをしりました。
またはなごめてなご島と長崎に原爆が落と
されたのかも知れてよかったです。

原爆がばくはつした時直上に7000℃
太陽をうまわすものがあったというのも
しょうがきでした。

死亡率が40%という事はクラスの中で約 $\frac{14}{30}$
なのでおどろきました。

また原爆のおそろしさは、熱線、放射線、しょうがきは、お身線
といつその3つの中で人が死んでいました。

特に熱線と放射線としょうがきは、原爆が落とされた所に
真空ぼうたいになり外の空気が一瞬に
真空ぼうたいのところにしめつけられて人が消え
るといふのもありました。

ぼくは本話を聞いて戦争が原爆はこんな
こけなものでもう二度とからこはいけないなとお
思います。



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

11 / 19

こういう戦争の悲惨さは見たり聞いたりするだけでも悲しくなるけど、その悲しさは戦争を経験した人ほど強くて、しかもその生々しい姿をさわっている人は恐怖で、悲哀の心におそわれた人だと思います。

今ここで毎日平和に暮らしている自分は幸運中の幸運でその平和というのを憲法のおかげで守られている人だと思います。

この憲法を次世代に受けつぐことが大切だと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

表

11 / 19

爆撃機は 毎秒 440m 音速は 340m/秒

~~爆撃機~~

に

爆心直下 いた人は、1つゆんが 消えた。

・ 女房のこと 母がまきんを見て 1つゆんで じおはつして すみのがたまりができた。

・ ちっせんてが ^れか ^ん 爆撃機は、せんがた。

・ ほのおのうづでいりけしんだ。

かんそう

・ 社会の授業で ぶらたけと 体馬負した人の 言葉をきいて すごくおそろしいと かんじました。

かげた、けがの、たりして おそろしいと思 いました。

・ にどと このよう なことが おきないよ にしてほし いです。今は デモナもまこ、し いる ので それもなくして、平和な世界にし てほし いです。



原はく先生の特別授業を受けて原はくのいりやくがそこまで強いとは思いませんでした。近くに落ちたたけでほとんど一しゃんでなくなってしまう写真など見れませんでした。おむねずなみかが出てしまいそうになるほど悲しくなりました。ひばく者がかわいそうたけと原はく先生のお父さんなどの軍の人もほんとかわいそうでした。それはもうその時にいたらかわいいなと思いました。話を聞いてるたけでも悲しい。かわいいかわいそうと思うのにそれをリアルでいけんすると考えると考えられないです。ひばく者もいさなりあつくなりやけとをあらたりわからないうきょうでいたいと思て軍人にたすけてもらおうとしても何もできない。たくなるたけ。これはほんとうにかわいそうだと思いました。これはほんとうにかわれられないと思います。



今回のお話をきいて、原爆のおそろしさや、こわさをあらためて感じました。その中で一番こわいなと思ったのは、原爆のあつさです。7000℃のかたまりが地上から6000mしかはなれていない所ではくはつするというのは、そういうなあつさだなと思いました。それによてきえて、あとに黒いしみが残っていたという話をきいて、本当にこわくてひさんな話だなとかんじました。あとは死亡率の高さです。広島市にいる人の5人に2人が亡くなったというのはかなり多いなと思いました。

今回の話をきいて、戦争は二度とおこしてはいけない、ひさんなものだなとあらためて感じました。戦争のきおくなどを次の世代の人々へとついで、二度と戦争はひきおこさないでほしいというふうに思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

11 / 19

このことをなんで原爆のはけしきわさんさかわか。

た、義三さんの原爆資料館にいったときの人のもけい

をみた時のやさしさという言葉が生々しい

と思った。またこの言葉は被爆者を見たことか

ないと言えない言葉にと思った。

そしてけんはくのようなかたしり歴史は

二度とくり返したくないと思った。

のじゆきょうであらためて広島をじっくりみて

みようと思った。

また町をみてはとんだ「けいこうけい」か

るかてみえるんだらうと思った。

また長崎の原爆の前にはうわさみたいた

ことかいて「たけど」広島の前には

うわさか「なから」のかきにびた。



原爆先生の特別授業を受講して

表

11 / 19

特別授業を受け、自分が原爆のことを知っているようで

全然知らないことが分かりました。

火傷をした人々やビデオ、原爆の力について教わり

改めて、原爆のおそろしさを知りました。

7000℃の少年という意味が、教わってリトルボーイの

ことだと分かりました。

原爆というものはどんなものか、そしてなぜおそろしいのか

ということを知りました。

原爆のおそろしさや落とされた結果などを

知って、このようなことは二度とくり返されては

いけないと思いました。

もし日本が原爆を落とされていなければ、

ミサイルや原爆を落とす側になっていたかも

しれないと考え、ゾッとしました。

二度とこのような歴史がくり返されないように

するための心がまえが子供のころから

必要だと感じました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

11 / 19

げんぱくはおそろしいことでせんそうは
いけないことだと思った。

今の日本はせんそうをしてないから
平和だと思った。

せんそうがないときに生まれてきて
よかったと思った。



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

11 / 19

ぼくは今日の原爆先生の授業を聞いて、原爆はしても残さくなものだと思いました。なぜなら、被爆率70%、死亡率40%だからです。こんな物は、もう絶対に落とさないでほしいと思いました。また、いまも戦争をしている国がありますが、そういうところも戦争をやめて、国交を回復し、平和な世の中になってほしいなと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

11 / 19

私は、原爆先生の話を聞く前までは、

「原爆は、終戦に導いた物」というイメージ、

また、「たくさんの方が亡くなってしまった」というイメージ
しかありませんでした。

しかし、原爆先生の話を聞くと、

広島の人々が「すごくやけどをして、痛い思いをして
死んでしまった人、体全体が灰になり、消えるように

死んでしまった人、その人たちは「アメリカに、個人で

悪いことをしていない、なのに、このようにして

亡くなった人たちが「あまりにも無残だ」と思いました。

たったの一瞬で広島が焼け野原になり、

人々も、焼けこげてしまう。それが広島だけでなくて、
長崎にも同じようなことがあった。

日本は、原爆を落とされた国です。でも、まだ日本しか

原爆は落とされてません。だから、他にもこのように、

悲劇がおこらないよう、戦争はやめてほしいと

思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

11 / 19

かんい、ばつで、助が、た人の話を聞いていて、やっぱり話を聞いているだけでも汗がにじんで、恐怖を感じるような過去の事だから、つい、目をそむけてしまうけど、原爆ドームなにも、コネスゴに「負の遺産」として、登録されているほどだから、人類がもう二度と犯かしてはならない過ちとして、後世に伝えていかなければいけないんだなと、改めて思いました。今日、この「原爆先生」では原爆が落とされた本当の場所のことを細かく教えてくれたことにより、ちょっとざんこくな描写もあったけど、その時の、人々の気持ちとか原爆投下の背景を感じとれて、心は痛くなるけれども、良い機会だったなと感じました。また、アメリカ側の考文や、原爆投下の背景も知ることができて、私は昔からなんでアメリカは日本にそんなひどいことをしたのだろうと疑問を抱いていたので、そのことについても分かることができて、いい経験になったなと思えることができました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこ

表

11 / 19

教科書にの、ていふことが深く
語られていて戦争のところが分
かった。

ものすごく理論的に語っていて、戦争のところが分かった。

世界が原子爆弾を受けたのは日本だけが、このようなおものが
他の所びが伝わっていたら今はこの世の中にならなっている
のだなと思う。原爆は人類が二度としてはいけないもの
のだと思う。なぜアメリカが原爆を使ったのか。人を殺し
たり、人を殺すための道具を作るなどの行い、被害は何も思わ
ず行われていた。しかしこれからは人が苦しむことがないように
するべきだと思う。

人を殺すための道具が人を殺すことは非人道的ではないか
と思う。



戦争のせいで多くの人が命を失った
ことが分かった。

京都は人間のためになる建物がある
からやめたと言っていたけれど、広
島にも人にとって大切な建物がた
くさんあったと思うし、原子爆弾は
どこであつてもおとしてはいけない
と思った。

太陽が600m上にあるのと同じ
くらい暑いなんてとてもつらかったの
だろうから私たちはもう戦争が
起こらないようにしなければい
けないと思う。

7000℃の少年という題名の意
味が分かった。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

11 / 19

想像していなかったこともいろいろ教えて
くださって、とても勉強になった。戦争の
授業する前はよくわからなかったけ
れど、この授業を聞いて戦争の悲惨
さがよく分かりました。広島は原
爆が投下されたとき人々は何かあ
つたのかわからなかったのかもしれない。
その当時の人々は不安が気持
でいっぱいだったのだと感じました。
原爆纪念馆は、広島県産業奨励館と
昔は一緒だったのだと知った。もうこのよ
うな戦争は絶対にやめてほしいと強
く感じた。戦争の悲惨さを伝えるは
じいというものが、身にもみで穿かれた。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

11 / 19

空から「ワウ」をおとされて、たくさんの方がなくなったり、けがをしたのか「かわいそうだな」と思った先生のお父さんが「体中物々ど」をしてしまった人の手をとり、すくおうとしたときに手のひら、刀はかかれてしまい、たがえてたおれ、たがえてしまった人たちが「かわいそうだな」と思いました。

かいたんにこしかけていた男の人、親子で歩いてきた人たちが「ーしゃんてきえた。」と言っていたときは、こわいと思いました。その人たちの命が「ーしゃんてきえてその人たちは、ひっくりしたと思はず。」

さいしょに、はくたえのおとされる音をきいたとき、こんな大きな音はなだ、と思いました。

せんそうは、思っていたよりひどいもので、わたしたちが生まれるまえにこんなことがおこっていたのは、とてもかなしいと思いました。

もう、こんなことはおこらないでほしいと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

11 / 19

ぼくは、この原爆先生の特別授業を受け、とても悲しくなりました。また、ぼくは命の尊さに気づかされました。なぜなら、この戦争中、そして原爆がおとされたから、人も死に生きようとしていたからです。これはあたり前のやうに聞こえるかもしれませんが、今の日本を考えると、これは今のぼくたちに必要とされていると思ったからです。なぜなら、現代の日本人は自殺をしたりする人が増えていからです。つまり、今の日本人は命の尊さを大切に気づけていないのです。だから、ぼくはこの授業を通して、命を大切に、精一杯生きようと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

11 / 19

ぼくはこの原爆先生のお話を聞いて、改めて、原子爆弾の恐ろしさを感じました。そして同時に疑問を抱きました。アメリカ軍「なぜここまでして戦争に勝ちかけたのか」という疑問です。被爆して世くなった方が一番、哀れですが、そのよき人々を見てしまった方は一生その時のことが、気小意に残り、死ぬまでその可哀な境遇にいることになるからです。原爆先生のように、今、実際に被爆した経験を伝えて下さる人々が減っていて、なかなかこのよき貴重なことを聞くこと少ないのに聞けて光栄なことだと思います。これからもこのよき原爆について見つめ直す機会を増やしていった方がよいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

11 / 19

ぼくは、広島 の原爆 投下 について、
知っている ようで、知りませんでした。

今日、池田 さんの話を聞いて、色々
かとも 知る こと が できました。

なかでも、一番、あどろいたのが、

長さ約3m、重さ約4t の 一つの原爆で

14万人 ほどの人たちの命をうばったこと

です。 広島 人の 死亡率は 40% だった

そうです。これは、5人12人が死んでいる

ことなる そうです。よくしこのことを

聞いて、とてもびっくりしました。

今日 の話を聞いてぼくは、改めて
戦争は悲惨なんだなと、思いました。

そして、これからは、もう二度と戦争が
起ってほしくないと 思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

11 / 19

原爆先生の話を聞いて、改めて戦争は良くないことだ
 と思った。また、自ら戦争の被害にあった人だからいろいろ
 いろいろなことを知っていて、いろいろなことを教えること
 ができるのだと分かった。原爆の被害にあった人が、こ
 んなにもいるとは知らなくて、どのような姿で苦
 しくもかかっていたのか。原爆先生の授業を通して
 分かった。でも、私にもまだまだ知らないところ
 があるので、一度原爆ドームに行き、その当時
 の写真や映像、資料などを見て、改めて
 戦争について自分で考えたい。

私は、原爆と一言で言っても、実際どれくらいのい
 カでどれくらいの被害があるのか詳しくは知らな
 かった。けれど、原爆が太陽をこえる熱をもつ
 広島の上空で爆発したというのは想像
 だけでなくおそろしいことだと思える。その原爆のい
 カで、人の体の水がが一しゅん蒸発して、す
 ぐにおそってくるしん動で一しゅんにして体がな
 こなになてしまうのは、もっとおそろしいと感
 じた。今日本は戦争をしてないけれど、国内が安定し

ているわけではない。原爆を体験する機会が、今度は戦争について考えるべきだと思える。
 特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

11 / 19

やはり戦いなどにはいけな
いと思った
しかも助けようとしているもの
のその人たちを助けられなくて
ゴミになった
と思った

原子爆弾の力はすさまじく、た
く土人の人の命を一瞬にしてうば
いさってしまうので、そうゆう物を作
るのも使うのもだめだ
と思った
そのことのようにもう二度と、同じ
ようなことは起きてほしく
はないと思った



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこ

表

11 / 19

受講して、空しいのおそろしさやそのいきよたど
 きを知ることができました。さらに、授業でやて
 いたい所もくわしく、分かりやすくはあて、
 たくさん知る事ができました。

「7000の少年」は、初めは「なにを意味するのか」と疑問
 に思っていたけれど、話を聞いて、リトルヒイは日本軍で
 「少年」で、7000の熱さをおぼえたり、7000の少年について
 理解できました。昔の人がしている事は、とても
 危険な事だったと分かった。



原爆先生の特別授業を受講して

表

11 / 19

- ・兵は17-21から25までなければならぬ、
- ・たんと見ても死体は見えない。
- ・火暴弾は4-3kmもはみかた。
- ・げん爆弾はただかんたんに作ったのではなく、真鍮で作られている。
- ・火暴弾は爆発した時、100万°。
- ・軍兵は好きで軍兵になつたわけではない。
- ・せいはいは軍兵にたんとをもさせる。
- ・ほうしはて人は人の内臓の水分をすいと、2人を殺すせい。
- ・火暴風に入ると家物などは一瞬間でちりちりとしてしまう。
- ・げん爆弾のものは広島県産業奨励館にたつた。
- ・よく見る上にけむりが上から火暴弾している写真などは火暴弾して一瞬間空気がなくなりその穴は空気が入りこんで上に上がっているというげん爆弾にたつた。
- ・爆弾から煙草の煙が出るからせいはいは約60%の戦争というのはどなたかからいふことなのか先生のお父さんのちやうじやうからわかつた。もう一度とあんなに

はあんなにいいかげんと思ひました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

11 / 19

原子爆たんはとてもおそろしく、こわいものだと分かりました。

原爆先生の話を聞いて、ひさんなこうけいを目にし言葉が
失い、ショックを受けました。過去の悲しい現実をけど、
忘れてはならない事であってそして二度とくり返しては
いけない事と分かりました。

なぜアメリカは日本に原子爆たんをおとしたのか
が不思議におもいました。

戦争は軍の方々また住人の人々も被害を受け、
ら領地どうしたいからってよくないと思いました。

最後のビデオで、実際に広島にいた人の話で、涙が
出してしまうほど、悲しくつらい事が分かりました。

今でも戦争が起きている国があるので、日本は平和でいい
国だと思いました。今戦争が起きてしまっている
国もすぐに仲良くなつてやめてほしいと思いました。
そして日本ももう二度攻撃しないをほしいし、
攻撃されない国になってほしいと強く思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

11 / 19

僕は、原爆先生の特別授業を受講する前まで原爆について、どのような物なのか、どれくらいすばいのか、など知らないことばかりでした。授業を受けて、原爆の本当の恐しさを知るのは、原爆を経験した人しか分からないと思いました。

そして、原子爆弾を投下するようなことは、決してあってはいけないと思います。

また。



原爆先生の特別授業を受講して

表

11 / 19

僕は原爆については見て見ぬふりをして、この12年間生きてきました。しかし、この原爆先生の授業を聞き、日本人として、いや「一人の人間」として、この原爆という事件をふり向かなければいけないということを感じました。僕はこの授業を受けるまで、原子爆弾のことをとてもまわくみていました。原子爆弾というのは、太陽より、1000倍も熱く、燃えるものは全て、いっしょに無くし人の体の中に入り、ている水分を蒸発させ、人を「人間のような形」たしか見えませんがたにやえてしまう。人類の最大にして最悪の作品、たかということを知りました。僕がなぜ「作品」と書いたかかということ。この「リトルボーイ」を作った、米軍の科学者も、太陽より熱く、人を人間のような形にまでやえておもしろいと思っ。ていながらたと思っ。ます。米軍の科学者もリトルボーイを作っている時も、たか「作品」と思っ。ていたと思っ。ます。

僕は戦争というのは多くの人を苦しめ、悲しみを与え、多くの人を殺してしま。たので、何があ。ても今戦争というのは起きてはいけな。いと思っ。ていま。た。た。戦争がおきそうにな。ても、どちらも、あるいはど。ちらかが優しい心をも。て、戦争はおきない。と僕は思っ。ていま。す。この授業を通して、いかに戦争、原爆はおそろし。く、悲し。いものかを知ることか。できてよ。かった。と僕は思っ。ていま。す。



原爆先生の特別授業を受講して

表

11 / 19

原爆先生の授業ではリアルな話でおそろしさがつたわ、てきました。原爆資料館に行、たこともあるけど、この原爆先生の授業の方が、実際に起こ、たことだ、という感じが強かったです。太陽よりも1000℃も高い温度になるため、本当にすごい力だなと思いました。人が消えたように見えるほどだ、というの、おどろきました。

その予定の場所に京都が入、っていたのは知らなくて、京都が外されてい、なかつたらまたちが、た結果にな、ってしま、っていたんだらうな、と思いました。

やはり、もう二度と起こしてはいけないと、だと改めて思、いました。そして、このように学習したことを、しっかり次の世代に伝、えなくてはならない、と思、いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

11 / 19

原爆がおそろい、物だ"と感じた。

原爆が落ちてきてからその後までの

いろいろなることが知られた

熱線・衝撃波・放射線

戦争をして原爆は決していいことではない

だけが起こってしまったことはもうもどかしい

から今やこれからは起こさぬ同じことを

しなれ"ことが大切だ"と思つた。

そして日本だけでなく他の国でも同じことを

ほ"くは思ふ。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

11 / 19

今回のお話では、改めて戦争、原爆の悲しさを実感しました。
被爆された当時の人々は、原爆を経験していない私たちには
分からない、「つらい」「悲しみ」などではすみきれないぐらいの
残こくで、つらすぎることを経験しました。経験した人々の
多くは、何の罪もない市民で、まだまだ明るい未来を想像して
いた子供達や、日々をいっしょうけんめい生きていた大人たちでした。
そんな人々が、あの一発の原爆のせいで、夢も友達、何もかもを
一瞬にしてなくしてしまいました。本当に理不尽なことだと思
います。だから、もう二度と戦争、原爆はあってはならない
ことだと思いました。原爆が投下されたあの日、広島、長崎の
人々は「今に自分は死んでしまう」おどろきは少しも思っていなかった
にろかいありません。あの一発の原爆のひしんは、私たち
にはほんの一部しか分かりません。本当はこの100倍も
残こくなことである気がします。その「本当のこと」を伝えて
くださった池田さんから教わったことを、これからを生きる
次世代の人に、被爆された人々の思い、現状、残こくを
伝えることが今の私たちかすべまことであると思います。
一瞬にしてこの世から消え去ってしまった何の罪もない市民
たちが、本当に、悲しく理不尽でかわいそうだと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

11 / 19

私たちのいる東京都から離れたところに広島県があるので、私にとって広島原爆投下はあまり身近なものではありませんでした。しかし、今回の原爆先生をうけて人ごとにしてはいけないなと考えるようになりました。そして、改めて争いごとを武力で解決するのはよくないことだと感じました。

今回の授業の中で一番おどろいたことは、原爆を投下する候補になった都市の京都府では一番強くおされたのにも関わらず、1200年の歴史をもつこと、人間にとっての財宝であることから、日本人の感情を考えると、投下されなくなったということです。つまり原爆を投下するにあたって、自分たちにとってもよいものだけを残しておいたということでもあるのではないのでしょうか。そして、これからの学習では今回の原爆先生で「学んだ」ことを生かして、深めていきたいと思っています。

また、今回のように実際に経験した人の見聞というのはとても貴重なものだと思うので残していくことが大切です。



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

11 / 19

原爆のおそろしさを知ることができました。このおそろしさを知ることによって、これからこのようなことがおきないようにしたいと思いました。原爆で多くの死者を出したこと、そこで生きのこった人も大げんやけどをおい放射線によるひがいのなど、今でも原爆によることば悲しい人が多いことを知り、もっと原爆について知ってほしいと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこ

表

11 / 19

原爆先生の話を聞いて命は大切だと
 ためを覚かんとした。から、
 なんで争持がこわく危ないと思て
 本をいかに早く読む



原爆先生の特別授業を受講して

表

11 / 19

今回、原爆先生の特別授業を受講して、
原子爆弾というものがどんなに恐ろしい
ものであるかが、改めて実感することができま
した。何人もの人間や、何匹もの動物たちの
命がたったいっしょんで消えさってしまう
ということを教えていただいたときには、内心
驚きました。自らの体験を教えて下さった
義三さんなどの被爆した方々が、どれほど
つらい思いを抱いてきたことか、私にはは
想像もできません。二十八年現在。
原爆が投下されてから、数十年まわりの
時が過ぎました。広島にある原爆の資料館
に私も行ったことがあり、本当に恐ろしく感じたけれど、
義三さんがこの資料館で戦争の恐ろしさを完全
には表せていないとおっしゃっていて、少し悲しくなりました。
このようなことが二度と起こらないで欲しいと
被爆者の方々は思っているだろうし、私もそう
思っています。だから、いつか日本の未来をつくること
なる私たちは被爆者の方々の思いを受けついでいくことが大切だと
思います。



原爆先生の特別授業を受講して

表

11 / 19

原爆先生はあそび心豊か

17000℃の少年とはリトルホ
ーイのことだ"というのと
が良かった。

原爆先生は二度とつくりな
し、世界でまっちゃんに約束した
方がいい。

原爆先生は知ることよりも理
解することの方が大切

それはたぶん他のことでも通ず
ることだ"と思う。

日本人をたしずんころし
たアメリカに対していかに
力がこみあげてきた。
もっと平和な世の中をつくら
いってほしいと改めて感
じた。



原爆先生の特別授業を受講して

表

11 / 19

まず、自分の中で原爆というのがどれほど
おそろしいものなのかよくわかりませんでした。
しかし、今回の話は自分の想像より
も、はるかに上回るおそろしさで、びく
りしました。次に、義三さんの体験談は、
とてもドクドクする、生々しいもので、原爆が
落とされたときのあの音には、とてもびく
りして、本物がもっと大きい音がするとし
たらと思ったら、ゾクッとなりました。さらに、原
爆の説明には、とても大きな数字が
並んで、こんな数字をたたき出す、原爆
のおそろしさがよくわかりました。アメリカ
軍の様子のムービーで、一瞬間で何もか
もが消えたときには、少し怖さを身近に
感じた気がしました。最後の義三さん
が苦しうにうたえたのには、じんとなりました。
そして、原爆について学ぶ機会ができ
て、とてもうれしかったです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこ

表

11 / 19

日本は唯一の被爆国なので、原爆の苦しみを後世に伝えられるのは日本人だけなので、今日を機に原爆というものを意識したい。

今、原爆投下から70年がたっており、それを生かした人は少なくなっている。

そのため、原爆の言ひは国民の間でさめつつある。

しかしそれをほとんどの子供がいつか世代と着実につたえていってきだと感じた。



原爆先生の特別授業を受講して

表

11 / 19

特別授業を受講して私は原爆のおそろしさを知ることができました。原爆によってどんなことが起きるのか、人々にどのような影響をあたえるのか、どのくらい威力があるのかということがわかりました。原爆とは人が一瞬で炭になってしまうような威力があり、原爆が投下した場所の近くにはいにもかかわらず、生きていたという人もいます。手をひっぱたいて肌がかかれるほどのとても重症の火傷を負うほど原爆がおそろしいものだということがわかりました。

私はこのようなことを知り、もう二度とこのような戦争が起こればしくないと思いました。そして、この戦争で起きたことを忘れない、未来の人達に原爆のおそろしさを教えてほしいと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

11 / 19

授業を受けて、戦争のことが分かった。

エラ・ゲイがきたときに広島の人たちは心のように気が持た
たのことも思った。

死体のような人が歩いてくるときで、助けに行き

のはぼくは、こちくでできないと思う。

原爆で死んでしま、人はたくさんいるのが分

かって、銃火器は、わいと思った。

47もの火薬たんを、アメリカの軍がらま、つてくるとい

ふとは、よほど日本をぶ、すくらの気が持たをま

ていて、それほど戦争はあそびい人

だと思った。



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

11 / 19

まず原爆のこわさを知った。

人が消えてしまうほど原爆はこわいものなんだな
と思った。

池田さんが(話をした方)急に「バーン」といって
すごくびっくりした。本物は音もそうだし、
あついから苦しいものだと思った。

「ヒルガズルルとおちて」というところこ
想像をするだけでこわくて死にそうだ、
た。

原爆を落としたヒロシマの名前が「母親の
名前だ」ときいてかなしくなった。

「7000℃の少年」というのは原爆くこのあつ土
が700℃、広島にとうかされた原爆くこの
名前が「ヒルガズルル=少年だから
だ」ということを学んだ。

アメリカの人はなんのつみもない人を
ころしていて、なんてざんこくなんだ……
と思った。



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

11 / 19

広島 原爆について自分は何も
知らなかったんだなと思った。

原子爆弾はどのようなもので どうして

こんなにも被害が大きかったのか、色々なこと
を教えてもらったけど、私は一番日記が
印象に残った。助けたいと思うが、助け
てあげられないもどかしさが伝わってきた。
私たちが道はたにそんな人がたくさんいた
ら、逃げたほうがいいと思ったので、兵隊達は
すごいと感心した。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

11 / 19

アメリカ人という人は、勝利を確信
していて、占領した後の事も考えて
いたことを知った。

600mも上がったのに地上でも3000℃
もあったと考えるとしても怖かった。

原子爆弾を作った自国の人も
ふるふるほど“威力が”強いこと
を知った。

水分を完全に失った人の炭はどの
くらいの大きさなのかが知りたい。

きのこ雲のできる原理を学んだ。

エノラ・ゲイに乗っていた人は、せん回
するのにも死んだか、原爆は雲
を見た時どのような気持ちだっ
たのか、と思った。

何かも分からないのに助けた隊員は
すごいと思った。

原爆の物が“ない”方は幸せだ”と
思った。



原爆先生の特別授業を受講して

表

11 / 19

今日私は、原爆先生の話(7000%の少年)を聞いて、な
んかわかったことがあります。

1つ目は、原子爆弾投下都市の条件などがいろいろ
そろっているところしかダメとか、いろいろ大変なこ
とが分かった。

2つ目は、候補になった都市で、京都が候補になっ
た。その理由が、文化財(多)いということでした。さ
ういふにえらんでいることがわかった。

3つ目は、今の原爆ドーム(昔は、広島県産業奨励館)と
よばれていることがわかった。しかも、助かった人が
トイレの中だったということにビックリした。

4つ目は、衝撃波の速さが音速(340m/秒)より速い
ということにおどろいた。

あと、最後に死者数が14万人、死亡率40% (5人に
2人)という人数を見て、すごい人々にとってア
んなことがわかった。



原爆先生の特別授業を受講して

表

11 / 19

ぼくは、原爆がこれほどにも恐ろしいのかと思
 いました。原爆について知っていたことは、放射す
 能くらしいが知らなかった。で、熱線と衝撃
 波もあると聞いたとき、本当にびっくりしました。
 そして、一回落としただけで14万人も死者が
 いるという原爆の恐ろしさは、ぼくの想像
 を越えるものでした。

ぼくは今回の原爆先生を聞いて思ったこと
 があります。それは戦争についてです。戦争は
 相手の国に勝ち、自国の平和を望むためにお
 互い争っています。しかしぼくは、その勝ちとった
 平和は本当の平和だとは思いません。相手の
 国の人を大勢殺してしまっても平和ではあ
 りません。ましてや、広島原爆の次に、また戦争
 に関係のない人たちも巻き込まれてしまうこ
 ともあります。原爆におてくした方は、どれ
 ほどまだ生きたかたことでしょう。それを考えると本
 当に戦争はいけないことだと思えます。

なので、戦争が原爆被害がもう一度とおきないようにしたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

11 / 19

原爆のおそろしさ がわかった。

まず、もう原爆をおとしてほしくない。

そして、原子爆発の機械についても、わかった。

長さが3.12m 重さは約47トンする原爆

は、当時、天候が...と理由でおとされ、

爆心地から、約4km はなれた場所から、

標高9632mで300km/h以上のスピード

でおちて 高さ600mで爆発して、その時

爆発した部分は太陽(6000℃)より高い7000℃

になり、地面では、鉄がとける温度(1400℃)

より約3倍以上の3000℃になっていて、

なにより、3分間の動画を見ていて、人間が

一瞬になって、消えたり、町も村も消えおちて、

原爆雲が飛んでくるほどの...かがあることを知った。

また、熱線や放射線などが...衝撃

波の速さは音速より(340m/秒)速1.440m/秒の

速さというおそろしいことをした。

このことを知って、こういうことや戦争を起しては

いけないと深く思った。



原爆先生の特別授業を受講して

表

11 / 19

実際に講演会を聞いてくださった池田さんの父が被爆しそこでであった体験はぼくの想像をはるかにこえる悲惨さであり聞いてゐるぼくも心がしめつけられるほどだった。原爆が落ちた時のさげんもたぐい³⁰⁰⁰の熱で皮膚がとけさわれるとはがれてしまうほど被爆した人はすごいっらかったのだらう。

この熱で体の水分が失われ水をもとめ元安川に入った人が多かったからこそ義三さんは兵隊として大変な仕事もしていたのだ。だが水をもとめ人は死^{はたは}たつたのだらう。そもそもアメリカがおとした原爆は、千ベツト大佐の母エノラゲイと同じ名のB29爆撃機が放ち、力は太陽の温度をこえる熱線でしょうげき波は440m/秒とふきとばされる。力たして死亡率は40%と高い。ぼくは昨年広島に行き悲惨さを知った。その時のヘルメット、洋服などがまっくらにガッて怖かった。

これをきいて北の核などと笑いながら言っているけれどこのいカドとレベルが違うなと思ひ核廃絶をよびかけた。また長崎広島以外にひばく都市をすやさめよう平和でいてほしい。



原爆先生の特別授業を受講して

表

11 / 19

話を聞く前は、原爆のことをよく知
らなくて、「こんな感じかな」と思っ
て、あまり興味もなかったのですが、授
業で話を聞いて、原爆がおちた時の暑さ
は、太陽をこえている温度だ、たの
で「人間だ」で人間じゃないうす。と
話したのですが、私には想像もつ
かなくらいおどろきました。
3分間の動画を見た時に、人が炭
ば、こーしゃんで消えしまった時、
原爆のえうぜっさか、あらためてわ
かりました。義三さんが、しよかんをよ
とされた時、被爆者の人形を見た時、「キ
シイ」と言っていたのを聞いて、すこ
しく生々しいよかったです。たの
なと思いましたが、話を聞く前は、昔
の問題としか思わなかったのですが、話
を聞いた今は、昔の話でも、原爆には、
目を向けなければいけないと思
いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

11 / 19

私は原爆先生の話を聞いて、思ったことがたくさんありました。
 一つ目は、厚爆のいりよくです。リトルボーイは、なぜ太陽にまで
 近いきよりの表面温度が7000℃まで達したのか、すごく
 不思議でした。理由は、人の手でそんなにも熱い
 炎が燃えたなんて知らなかったからです。

にする
 のたご
 思いた
 た。

あと、原爆先生の話を聞いて、一番おどろいたというか、え？みた
 いに思ったことがあつて、そのリトルボーイが太陽に
 近い熱をたじ、いつも町をこわしてくれている太陽が
 真上から落ちてくるとなると、こわくてしかたがありません。

私が一番つらかったと思うのが、原爆地より、少し遠い所
 にいた人達です。すぐには死ねず、助けがくるまで、
 正しいさかいはない、助けを求めてもふさがり落ちてトラッ
 クに乗せてあげられないと聞き、考えをふるふるたじろつた
 気分です。

でも、女性の、3じゅうきすいに入りこんでいた人が、原爆後、生き
 いたというところが、オセキたじと思ひました。

そして、今は、自らが命をたつ者もいます、ですが原爆の話
 を聞いたと、たじ山死たじかと思ひている方について、絶対命は大切





原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

11 / 19

きいてくるだけでも、ゾッとした。

おもっていたよりもこわかった。

池田さんの、えんぎがじょうずで原爆が
おちてきて、その原爆が地面についた時の
しょうけい、きあ人がめっちゃリアルでとても
怖かった。

アメリカ軍の落とした原爆の目撃者に「ちこ
ちかくに原爆も落としていすこば」と思った。



原爆先生の特別授業を受講して

表

11 / 19

原爆は、「人がたくさん亡くなった、日本政府をうごかした事件」としか理解していなかったけれど、とても悲惨なものだったんだな、と再確認しました。

話には、私には想像できないくらい、怖いことがたくさんでてきたけれど、きっと義三さんはずっと辛くて、悲しい思いをしたんだろうなと思います。

これからの日本は、こんなことにならないようにしてほしいと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

11 / 19

原爆を改めて怖いものと感じた
そして、たぐいの死者がいかに多いこと
が分かった。自分も原爆戦争
をなくすための活動はたぐいの力な
と思った。これから、なくすための活動が
あるのか教えてほしいと思。た
「はげき波の速さ」毎秒440mとい
うところと死亡率40%といふところにあ
る。た。



原爆先生の特別授業を受講して

表

11 / 19

私は、今日の特別授業を受けて、広島や長崎などに何かあったかよく分かりました。

例えば、義三さんの当時の気持ちや、どんな勢いで原爆が落とされたのか？などの事が分かりました。

私は、話を聞いたり、プリントの資料や映像を見ている時に衝撃を受けました。

そして、私が特にびっくりした事は、3つあります。

1つ目は、太陽の温度が6000℃なのに、それを1000℃もプラスされている7000℃の原爆が600mはなれた所にあるなんて、びっくりしました。そして、地面は、3000℃という事もびっくりしました。

2つ目は、死亡率40%の5人に2人が亡くなっているという事です。

3つ目は、3分間の映像を見ている時に原爆が落とされる瞬間がびっくりしました。ふうふうにしていた人々だけが一瞬にして、原爆が広がっていくのにびっくりしました。

今日は、貴重な体験をさせて頂きありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

11 / 19

昔の人は原火暴でとてそ夫変わった
ことが分かった。

今でも原火暴のえいきよるを受けて
いることが分かった

リトルボーンが火暴アタした時の
温度は100万℃で表面温度は
7000℃にも行っていてすごい
と思つた。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

11 / 19

ぼくは原爆のおそろしさを知らなかったけど、
でも、原爆先生の特別授業を受講した後はぼくの思っていた以上に
原爆がおそろしいことに気がつきました。
原爆は放射線のことしか知りませんでした。でも、放射線の他にも
しょうがきはや熱線があることを
知りました。原爆の細かい知識も
言ってもいいくらいに教えてくださり
本当にありがとうございました。
この原爆先生の特別授業の
DVDの少年を言読んでくださった
ときはその立場にいるように感じ
ました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

11 / 19

原爆くのおそろしさが分り、
もう、絶対に戦争をするべきで
はない、原爆くを使うべきでは
ないと思った。

たくさんの人々が死んで
しまったり、けがをしてしまったり
した原爆くは、とてもこわい
べきだと思った。

今、ぼくたちが生活している
時代は、平和で、とても
良い時代なのだということ
を学んだ。

日本は、原爆くが落とされた
中の一の国なのだから、

もっと
(もっと強くなる)原爆くに反対していけば
良いと思う。

戦争のことを、あまりくわしく
知らなかったのど、知ることができ
てよかった。



原爆先生の特別授業を受講して

表

11 / 19

原爆先生のお話を聞いて、原爆とはおそろしいものなのかな、とあらためて感じました。

原爆では、たくさんの方がおせくなりになり、その後も苦しんだ人がたくさんいたのは最初から分かっていたかな、このほど悲しかったものかな、と思いました。

今は、原爆ドームや、資料館などがあり、分かりやすく、その時のことなどを知らせてくれますが、現実とは違って、もうどうすることもできないふうなかんじが、とても伝わってきました。

私も広島に行って、原爆ドームや、資料館に行き、苦しんでいた時のことを知りたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

11 / 19

原爆。本当にこわいな
と思いました。

被爆者の方は、やけどをして
ひく、がただ木たり、いろいろ
けがをしたり。爆発した内部は1000℃
5人に2人が死せるとか聞いて
いたりました。

爆心地付近で、コンクリート
のすきまにいた人が爆発し
た。黒いかげのような

ものしか残っていなか。たて
いこうを聞いて 人間が蒸発
してしまうほどむごいんだなと
も思い、もう二度とこういう
ことが起こらないでほしい
です。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

11 / 19

原ばくのおそろしさをすごくよくかんじた。

原ばくドームを後世に伝えるために
あるんだし、これからを
伝えていきたいなと思いました。

原ばくの速さやくわしい
ところまでせつめいしてく
たさってありがとうございます。

池田さんのお父さん (義 = じん)も
すごかつらいおとしをしてき

てんだと思ひます。だからこそ

博物館で「きれいなまき」...

ことばをでてるんだなとも

思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

11 / 19

私が生まれる前。ことだ"けど"父親が"体息"した
という人が分かりやすく説明してられて
とても分かりやすく とてもおもしろいこ
とというところが分かりました。

また、音なども合わせて言ってくれて
よかったです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

11 / 19

た。た70年ほど前にはこのような、
おそろしい事があり、体験者にとっ
てはトラウマではすみされないといら
ことが、義三さんから伝わってきました。
画面越しに話をきくだけでもこちら
まで身震いしてしまいました。
今日、学生の間では「核」というものが
「おもしろい」「ネタになる」のように扱われ
ているのですが、僕もそういった人達
の一人でしたが、この授業の後に
自分が恥心すかしくなるどころか、
申し訳なくなりました。
この授業は、子どもの考えを根本から
変えることのできる授業です。
素晴らしいからです。



原子ばくだんは前からおそろしいものだ
知っていましたが、被害の大きさ、おそろしさ、
恐怖を実際には体験したことはないの
で、原爆先生の授業でくわしく教えてもらうことが
できてうれしかったです。(とても貴重に感じた)

核兵器やばくだんなどは光と影、それぞれの
面があると感じました。

原子ばくだんが一発とんできただけでも
数多くのお死者・被ばく者がでて後遺症に
苦しんでいる人も多いことを学びました。

今回の授業をふまえて本当に多くの命を失わ
せたり後遺症に苦しんでいる核兵器が不要なのか、
自分の国を守るための武力として必要なのかと
いう考えをもち、自分自身で少しづつでもいいか
ら、考えてみようと思いました。

二度とあんな惨劇は起きないでほしいと
ねがっています。



原爆先生の特別授業をじゅこう受講して

表

11 / 19

たんさんの人かくるしい思いをして、
 生きていた人もやけどまでしてい
 たが、いて心かたしした。
 兵士もくるしい思いをしていた
 けど、人の手を助けた人がかんにい
 てる。い熱気た。兵士さんたか
 うできることとしていて、い思
 った。アメリカ人は勝ちを確実に
 思って実行したのがな。い思
 った。トラゲイというはくけきまで
 こうけきをした。兵士たちの上空6000
 には7000℃の熱があったらどん感じ
 になるのかを考えた。爆弾を投じた国の人
 たちもこれだけ動けなくなるほどのい力が
 ある事を知ったのはくほつ直後で生きてい
 た人でも熱気で死んでしまった人がいる
 こと知った。

爆弾の
 熱線
 放射の
 威力



NPO
法人

池田まのぶ^{さん}
原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

11 / 19

僕は核兵器をもつべきし教えていた
けど被害者の話をきくとやはり
核兵器は危険だと思い直した。
今は平和の世の中でよかったと
つくづく思い直した。

もし日本に核兵器がおとされてい
なかったら他の国におとされて
広島のようなことになるからあ
る意味日本におとされてよかった
と思った。

国のせいであつて死んだ人をガソ
リンをまいて焼くのはあまりに
もがましいそうだった。

広島に核兵器をおとされて
いた理由が意外だった。